

「いつまでも、自分らしく、輝く」

敬老の日は、長年にわたり社会に貢献された高齢者を敬愛し、長寿を祝うことを目的に制定されました。

市内に住む75歳以上の方は6,621人(8月1日現在)で、人口の約20%を占めます。これまでのご尽力に感謝し、敬老会で長寿のお祝いをするところですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年に引き続き敬老会(式典)を中止しました。市政だよりを通じて、高齢者の皆さんを元気づけたいとの思いで特集を企画しました。多くの皆さんに「これからも元気で頑張りましょう」と思っただけで幸い。

お正月の風物詩で1年の健康と幸福を願い、心を込めて作られる「しめ縄」。そのしめ縄を長年作り続けている職人柳沼利男さんに話を伺いました。

柳沼さんは、平成12年にシルバー人材センターに入会し、理事長まで務め「最年長で古株の会員だよ」と笑います。会員になる前は夫婦で葉たばこ作りを中心とした農業で生計を立てていました。建設会社勤務を経て会員になりました。農業や建設業の経験をいかし、草刈りなどの業務をしていましたが、平成19年に「しめ縄」を依頼され、佐久間一子会員と一緒に応じたことが「しめ縄づくり」をはじめたきっかけです。

元々のづくりは好きだと話す柳沼さんですが、大きく太いしめ縄は、力を込



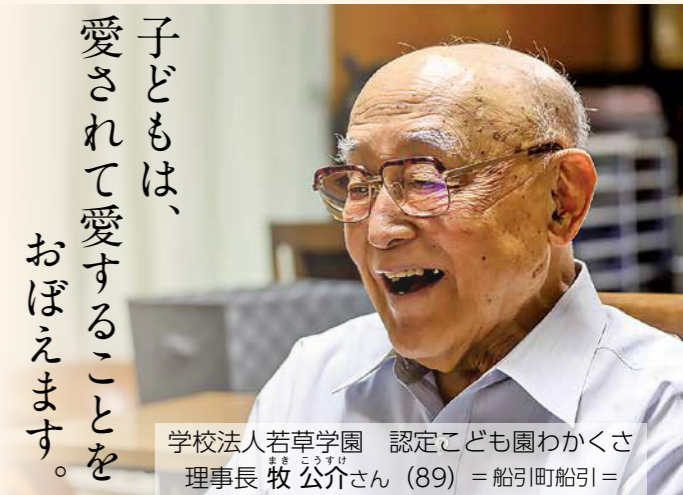
めてしめなければならぬのでかなりの労力が必要で約6メートルのしめ縄を仕上げるには二人がかりで約7時間かかります。

柳沼さんの代表作には明石神社(船引町堀越)のしめ縄や堀越のお人形様(同)の衣などがあります。また、材料を探すのも一苦労で、2軒の農家と契約して稲わらを確保しているそうです。

今後の抱負を尋ねると「会員などを対象とした講習会を開き後継者を育成し、地域の伝統を守り受け継いでいきたいですね」と語る柳沼さん。目を輝かせて話すのが印象的でした。

一心を込めて紡ぐ

シルバー人材センター 会員 柳沼利男さん(94) =船引町芦沢=



子どもは、愛されて愛することをおぼえます。

学校法人若草学園 認定こども園わかさ 理事長 牧公介さん(89) =船引町船引=

市民の皆さんの中には「わかさ幼稚園」に通い運動会やクリスマスなどの楽しい思い出をお持ちの方は多くいらっしゃるのではないのでしょうか。「わかさ幼稚園」は前身の「おさなご学園」を含め66年の歴史があり、昨年度末までの卒業生は9346人を数えます。現園長の牧公介さんは昭和42年に設立者で母の多辻多喜子さんから受け継ぎ、55年の長きにわたり幼児教育の第一線で活躍されています。長年続けられた秘訣を尋ねると「自然の成り行きで幼児教育に関わってきたが、やりがいのある

仕事です。何よりも地域の皆さんのご理解と力添えによって長く続けることができたのだと思います。」と話します。

また、市の英語指導助手派遣事業や米国マンスフィールド市との姉妹都市交流にも尽力してきました。

戦後まもなく高校生を対象とした文部省(当時)の留学制度を活用し、ミネソタ州に留学。お世話になったホストファミリーのマイケル夫妻には、学校から帰宅したら自由に冷蔵庫を開けても良いような家族同然の扱いをしてもらったそうです。「そこには戦国または敗戦国の立場はなかった。」とのこと。その後、オハイオ州の大学に進学し親友ネザリー・レイモンドさんと出会いました。その彼とブラウン夫妻が橋渡しの役目となり、田村市とマンスフィールドが交流を進め、姉妹都市締結に至りました。

牧さんは「小さい時から英語教育や外国人と接し、

違和感がなく言葉になじむことが大切です。」と話します。わかさ幼稚園では3歳児から外国人英語教師による英語の授業を実施しています。

「子どもは、愛されて愛することをおぼえます。」これは、母・多喜子さんの言葉です。「愛を基として心を育てることがこれまでもこれからも重要なのです。」と、教育に対する情熱が言葉一つ一つから感じられました。



Voice 公益社団法人 田村市シルバー人材センター 事務局長 久保田光義さん

シルバー人材センターは、地域からのさまざまな仕事の依頼を受けて会員に仕事の紹介をしています。会員が健康で安全に就業できるように安全第一を最優先にして取り組んでいます。

少子高齢化の影響で人手不足が課題となっていますが、会員と就業機会を確保

しながら「地域の支え手」として存在感を高めていきたいと思ひます。

市内在住のおおむね60歳以上の方で、健康で働く意欲のある方はどなたでも会員になれます。興味のある方はお気軽にお問い合せください。

☎田村市シルバー人材センター ☎81-1505



敬老事業のご案内

敬老記念品は、各地区実行委員会から贈呈します。時間などの詳しい内容は、9月上旬に届く案内状をご確認ください。

●記念品贈呈日 9月18日(日)

☎保健福祉部 高齢福祉課 ☎82-1115 各行政局、各出張所

高齢者事業の紹介

■高齢者安全運転支援装置設置事業

高齢運転者のアクセルとブレーキの踏み間違いなどによる交通事故を防止するため、65歳以上の運転者が販売取付事業者(自動車整備事業者・カー用品量販店等)から安全運転支援装置を購入・設置した費用の一部を補助しています。詳しい内容はお問い合わせください。

●問い合わせ 保健福祉部 高齢福祉課 ☎82-1115

■老人クラブ

老人クラブは、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織です。市内には、老人クラブが61団体あり、生きがいと健康づくりのためさまざまな活動を行っています。老人クラブに加入したい、詳しい活動内容が知りたい、地域で老人クラブを立ち上げたいなど、老人クラブに関するお問い合わせは地域の単位老人クラブか田村市老人クラブ連合会へお問い合わせください。

●問い合わせ 田村市老人クラブ連合会 (田村市社会福祉協議会内) ☎68-3434

生活支援コーディネーター 青木多美子さん

「地域の支え合い・助け合い活動の輪を広げ、高齢者の元気な暮らしを応援」

高齢化が進む中、いつまでも安心して生活ができる田村市を目指して、住民の皆さんが主体となって取り組む「地域の支え合い・助け合い活動」を推進するため、生活支援コーディネーターとして活動をしています。

その役割は、地域の情報(人材・場所・活動や課題)を集め、それを伝えたり、組み合わせたり、新たな仕組みを考えたりするなど、住民団体や関係機関と一緒に支え合いの輪を広めています。

地域の情報提供や活動に関する相談など、お気軽にお問い合わせください。

☎田村市社会福祉協議会 ☎68-3434

